

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 実施日 2022年3月17日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OE19 2	総タウ蛋白 (AD) 5C200-0000-041-052	髄液 2.5	XR5 (L6)	冷蔵 (15日)	3~9		CLEIA	146~410 (pg/mL)	重 下記参照 &E

- 「OE18 5：リン酸化タウ」および「OE14 6： β -アミロイド1-42/1-40比」以外との重複依頼は避けてください。
- 指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器 (XR5) で提出してください。
- 指定の検体量より少ない場合は、データへ影響を及ぼす可能性がありますので、必ず所定の量 (2.5mL) にて提出してください。
- 検体の取り扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、受託できません。クロイツフェルト・ヤコブ病の診断目的の場合は「6484 9：タウ蛋白」をご依頼ください。



● 総タウ蛋白 (AD)

タウ蛋白は微小管結合蛋白質の一種で、中枢神経系および末梢神経系の神経細胞やグリア細胞に多量に存在しています。アルツハイマー病 (Alzheimer's disease ; AD) などいくつかの神経変性疾患においてはこれらの細胞にタウ蛋白の封入体が検出され、このようなタウ蛋白の異常蓄積による神経原繊維の変化による疾患群 (タウオパチー) にはアルツハイマー病の他に前頭側頭葉変性症、皮質基底核変性症など様々な疾患が含まれます。

タウオパチーの中には、病態の進行に伴い脳脊髄液中のタウ蛋白が上昇する疾患があることが知られており、本項目はアルツハイマー病などの神経変性疾患に関わるバイオマーカーとして有用と考えられています。

▼疾患との関連

アルツハイマー病 (AD)、
軽度認知機能障害 (MCI)

▼関連する主な検査項目

β -アミロイド1-42/1-40比、
リン酸化タウ

▼検査要項

検査項目名	総タウ蛋白 (AD)
項目コード	OE19 2
検体量	髄液 2.5 mL
容器	XR5 (L6) CSF容器
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3~9 日
検査方法	CLEIA
基準値	146~410 (pg/mL)
報告範囲 (単位)	141未満、141~1990、2000以上 (pg/mL)
桁数	有効3桁、整数4桁、小数0桁
検査実施料	
判断料	
備考	<p>重</p> <p>「OE18 5 : リン酸化タウ」および「OE14 6 : β-アミロイド1-42/1-40比」以外との重複依頼は避けてください。</p> <p>指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器 (XR5) で提出してください。</p> <p>指定の検体量より少ない場合は、データへ影響を及ぼす可能性がありますので、必ず所定の量 (2.5mL) にて提出してください。</p> <p>検体の取り扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、受託できません。クロイツフェルト・ヤコブ病の診断目的の場合は「6484 9 : タウ蛋白」をご依頼ください。</p> <p style="text-align: right;">&E</p>

●参考文献

湯原 麻子, 他 : 医学と薬学 79 (1) : 91~97, 2022. (検査方法参考文献)
野島 久, 他 : 医学と薬学 79 (1) : 99~105, 2022. (臨床的意義参考文献)